

大阪産(もん)農山漁村発イノベーションサポートセンター

『地域資源』を活かした取組を応援

支援対象者 募集!

令和5年5月8日(月)～5月22日(月)

応募の詳細は
研究所
ホームページで



地域資源を活かした地域の活性化
や地域の所得拡大などを目指す方

支援対象者になれば、
無料で専門家(プランナー)の
指導を受けることができます。

まずは、サポートセンターに相談ください。

例えばこんな悩みの解決に

- 経営分析・戦略作り
- 販路拡大・ブランディング
- 商品企画・開発・マーケティング
- 加工技術、品質・衛生管理
- 地域活性化
- SNS、Facebookなどを使ったデジタル化



農山漁村発イノベーションとは？

農林水産物の「6次産業化」をさらに発展させて、地域の文化、歴史や森林、景観などの地域資源を活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業等を含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値を創出し、地域を活性化させる取組のことです。この取組によって農山漁村における所得と雇用機会の確保を図ります。

農山漁村発

イノベーションサポートセンターとは？

農林水産省では令和4年度より、全国の都道府県に農山漁村発イノベーションの支援拠点を設置しています。大阪では大阪府立環境農林水産総合研究所が大阪府からの業務委託を受け、サポートセンターを設置しています。研究所が持つ食品や農業、漁業分野とも連携し、様々な相談に応じています。

大阪産(もん)農山漁村発イノベーションサポートセンター

専門家（プランナー）派遣5つの特徴

無料で専門家を派遣

1事業者あたり
1回 2時間
年間7回程度

ベストなマッチング

多分野にわたる専門家

新たな気づきの提供

経営課題を
見える化

経営の根幹から改善

経営改善戦略の策定

個別課題の解決

戦略に基づく
実行支援

業務内容

1

無料

相談受付・アドバイス

業務内容

2

無料

専門家（プランナー）派遣

(1) 支援対象者要件

大阪府在住の農林漁業者等であって、次の①～③の要件を満たし、専門家（プランナー）派遣申請を行い、支援対象者として認定される必要があります。

- ① 支援実施後3～5年間の経営改善目標を自ら掲げ、付加価値額の増加を目指していること
- ② 支援前3年間の「損益計算書」等の経営状況がわかる資料を提出できること
- ③ 支援翌年度から目標年度まで、毎年「経営改善状況調査書」を作成・提出することに同意すること

(2) 令和4年度の取り組み例

- ・観光農園の経営分析、経営改善戦略策定
- ・水産物のブランド化支援
- ・米粉のマーケティング戦略立案支援
- ・有機農業の経営分析とブランド戦略立案支援
- ・軟弱野菜のBtoB販売戦略立案支援
- ・加工場整備支援
- ・農産物の加工品開発支援
- ・地域文化を発信する商品開発支援 など

専門家（プランナー）派遣フロー

1

支援対象になるための申請

企画推進員による申請内容の聞き取り

2

大阪府地域会議での審査

3

支援対象の決定

4

専門家（プランナー）の派遣
（経営改善戦略（*1）策定支援）

経営改善戦略の完成

4

専門家（プランナー）の派遣
（経営改善戦略の**実行**支援）

5

目標年度までの経営改善状況調査の報告
（サポートセンターの調査への協力）

（*1）経営改善戦略

経営全体の付加価値額（経常利益＋人件費＋減価償却費）を増加させるための3～5年後の経営や組織運営の改善方策